

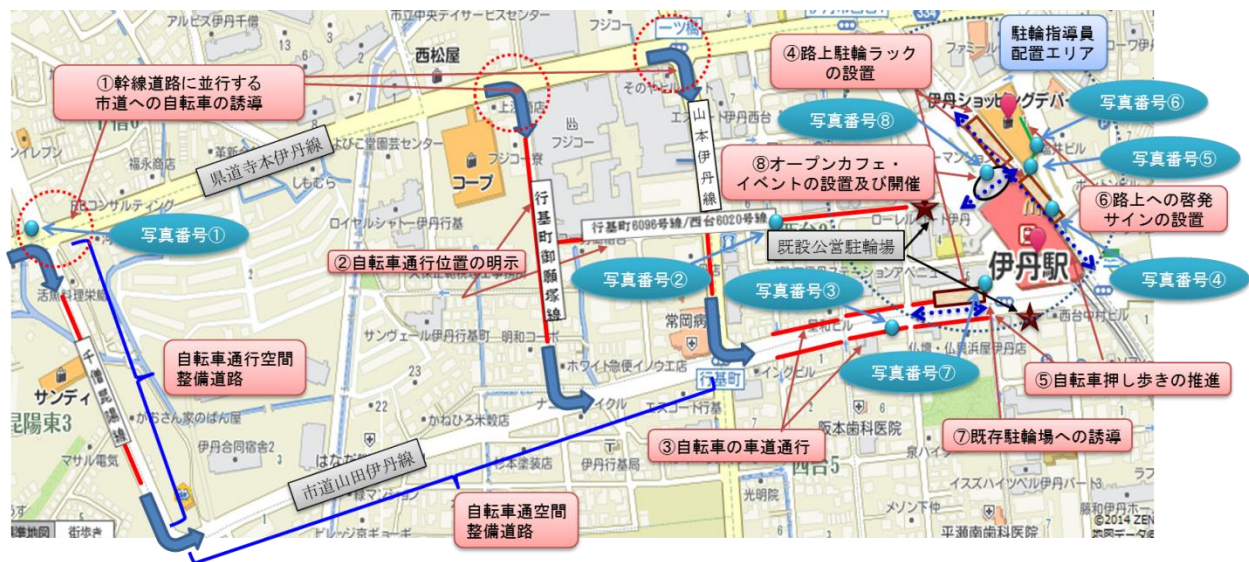
自転車の通行空間の確保と放置自転車対策によるにぎわい空間の創出 を目的とした阪急伊丹駅周辺道路社会実験(兵庫県伊丹市)

社会実験の概要

期間：平成26年9月30日(火)～平成26年10月29日(水)

内容：

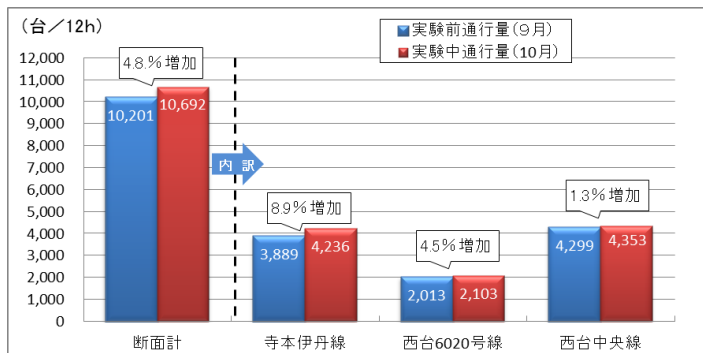
1. 幹線道路から並行する市道への自転車の誘導の有効性及び通行性等を検証
2. 自転車通行位置の明示による有効性及び通行性等を検証
3. 自転車の車道通行による有効性及び通行性等を検証
4. 駐輪場への誘導及び路上駐輪ラックの設置等による通行空間の確保の検証
5. オープンカフェの活用、自転車押し歩きによる駅前広場の賑わい創出・活用方法の検証



自転車の通行空間の確保と放置自転車対策によるにぎわい空間の創出 を目的とした阪急伊丹駅周辺道路社会実験(兵庫県伊丹市)

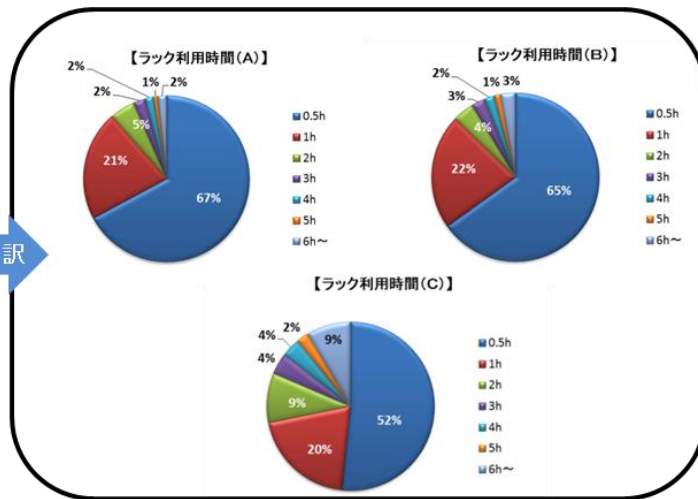
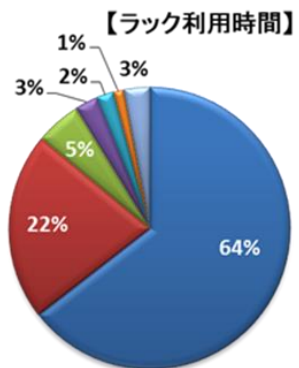
実験結果

並行する市道を走行する自転車交通量の変化
(実験前及び実験期間中)

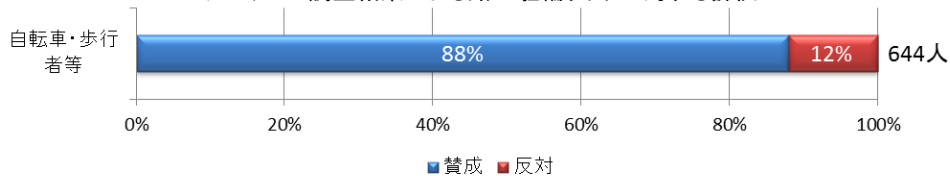


※各実験路線の断面交通量(7:00~19:00)

路上駐輪ラックの利用時間



アンケート調査結果による路上駐輪ラックに対する評価



本格実施に向けた課題

- ①主要幹線道路に並行する市道を有効利用した自転車通行空間の確保と歩車分離
 - ・自転車通行環境の整備を推進していくとともに、適した誘導ルートを選定し、継続した実施を検討。
 - ・通行位置の明示は一定の効果が得られ、継続実施を検討。視覚効果の高い誘導策及び交通ルールの強化を合わせて検討することが必要。
 - ・車道通行は、停車車両による弊害が大きく、歩道内において歩車分離することを検討する。
- ②放置自転車の慢性化の解消による道路の適正利用・まちの賑わい空間の創出
 - ・既存駐輪場への誘導看板設置は、一定の効果が認められたが、大きな誘導効果には至っていないため、視覚効果の高い方法及び内容を検討
 - ・自転車の押し歩き推進の高い実施率を維持するためには継続した啓発が必要。
 - ・オープンカフェの設置は、新たな集客につながっておらず、開催場所の検討、規模の拡大が必要。